

●漂白剤メモシート② 次亜塩素酸の殺菌機能

食中毒対策の強くて身近な味方 それが 次亜塩素酸ナトリウム

●漂白剤に次亜塩素酸ナトリウムが使われているわけ

次亜塩素酸ナトリウムは、一般家庭用として手軽に使える除菌剤や漂白剤としても、多くの商品に使われています。台所で使われる塩素系漂白剤にも、布巾やまな板の除菌効果を上げるため、次亜塩素酸ナトリウムが使用されています。実は、漂白剤は「白くする」だけではなかったのです。

O-157以後も、日常の生活を脅かす食中毒は頻発しています。その防止対策の強い味方で、案外みなさんのそばに控えているのが、次亜塩素酸ナトリウムなのです。

●次亜塩素酸ナトリウムの微生物・細菌への殺菌効果

人間の体に有害な影響を与える細菌などの微生物には、実にいろいろなものがあります。次亜塩素酸ナトリウムは、一般に細菌と呼ばれる大腸菌、ブドウ球菌、チフス菌、赤痢菌、連鎖球菌、緑膿菌、ジフテリア菌など、かなり広範囲に殺菌効果があるのです。

とくに大腸菌系統のもの、消化器系伝染病原菌には有効性が高いことから、飲料水をはじめ食品の殺菌消毒工程で、次亜塩素酸ナ

トリウムは広く使用されています。

これらの殺菌効果は、溶液の稀釈率や時間の経過なども関係してきますので、一口にその効果や条件をいうことはできませんが、大腸菌を例にとったある試験をみると、塩素濃度60ppmで接触時間1分で完全に死滅しています。

通常、市販台所用の塩素系漂白剤の標準使用濃度（100～600ppm程度）で、十分な殺菌効果を發揮しているのです。

●通常の漂白目的使用での殺菌作用は人体に影響はない

この強力な殺菌効果は、人体への影響はないのかが気になります。この点についても当然研究されていますが、通常の殺菌消毒・漂白目的で使用する程度での害は

認められていません。大量に長時間連続的に殺菌工程に使う食品工場などでは、その使用方法には十分な注意が必要です。

●漂白剤のはたらきとその正しい使い方

こうした殺菌効果をもつ次亜塩素酸ナトリウムを配合した漂白剤は、石鹼や洗剤に比べてもより除菌効果が高められています。

台所用漂白剤などに含まれている次亜塩素酸ナトリウムは、布巾やまな板、食器、ゴミ入れ、ボール、ざる、哺乳びんなどの除菌・除臭や茶しぶの漂白にも役立っています。ふきんを例に取ると、水洗いのみでは80%、台所用洗剤使用で95%以上の細菌除去率ですが、さらに標準使用濃度の塩素系漂白剤を使用すると、99.9%以上除菌することができます。

洗濯に使う衣類の漂白剤の次亜塩素酸ナトリウムは、汚れを落とし白さを保ち除菌・漂白効果があります。おむつの洗濯にも役立ちます。また、漂白剤ではありませんが、塩素系のトイレ洗浄剤、カビ取り剤などに含まれている次亜塩素酸ナトリウムも、住居の除菌に役立っています。

